令和７年４月１８日

教職員　各位

地域未来デザインセンター（CFDC）

「令和７年度 研究成果を活用した商品開発企画 」の公募について

１．目的

福島大学地域未来デザインセンター（CFDC）では、「福島の暮らしを・地域を・社会を・人を・つながりを創る、そして未来に進む」のスローガンのもと、本学の研究シーズを活用した地域課題の解決に向けた取り組みを推進しております。

しかしながら、本学の知見を活用し、地域課題を解決するためには、単に研究シーズを活用しようとする意欲だけでは足りず、これらを地域社会の中で生かすための実証実験、スタートアップ・NPO 法人等の起業支援、地域企業との連携等、本学の研究シーズが社会実装されるために必要な支援を組み合わせること、さらには、これらが自然発生する地域イノベーションの循環型の社会構造を構築していく必要があります。一方で、CFDC は大学教員が研究成果を社会で活用する経験やそのためのノウハウを学ぶ機会が非常に少ないという現状を改善するため、さまざまな角度からのアプローチも必要と考えております。

そこで、CFDC では、本学のシーズを社会で活用するためスモールステップとして、本学の有する特許、研究シーズ、ノウハウ、デザイン等の知的資産等を活用し、産学連携による商品開発を目的とした商品（以下、「福島大学ブランド商品」という。）の開発研究支援や産業界への橋渡しをするプロジェクトを立ち上げることといたします。このプロジェクトは、研究成果を社会で活用する経験やそのためのノウハウを教員が学ぶ機会となることを第一の目的といたしますが、その他にも「地域企業との連携強化」、「地域活性化」及び「大学ブランド力向上」等、多くの副次的な効果も期待できます。

本年度は、試験的に以下の要領で福島大学ブランド商品の開発支援を行いますので、奮って応募ください。

２．実施内容と方法

１）内容

学内の教員及び学生等を対象に福島大学ブランド商品開発について公募・選考し、採択された企画について、連携協力と財政的支援を行います。

（補足）

本事業の支援対象は、あくまで福島大学の知的財産等（製造技術特許、登録品種、研究成果等。以下同じ）を活用した商品開発です。現時点では、

・本学の研究により判明した、〇〇に含まれる有効成分を活用した商品

といったものをイメージしております。

従って、本事業では、

① 単なる商標付きの商品作成（例：めばえちゃん・大学ロゴ付きのバック）
② 既存商品の改善（例：パッケージデザインの変更、販路・顧客設定・広告宣伝の指導）
③ 市場で販売する可能性が限りなく低い商品の開発支援（例：試作品のテスト販売がゴール）

等は支援の対象としておりませんので留意ください。

２）方法

福島大学の有する知的資産等を活用した商品開発にあたっては「マーケット調査」「商品コンセプト策定」「商品試作」「販路開拓」等の様々な課題を解決する必要があります。このため、CFDC プロデュース部門を中心に、学外の専門家も交え、アイデアから販売まで連携協力して、商品化のための経費も支援します。

３）支援金額・支援件数

① 支援総額３００万円以内（１テーマ当たり５０～１００万円程度を予定）
② 支援件数は、最大５件とする。

４）支援期間

支援決定後 ～ 令和８年３月３１日

３．申請要件

１）本学の有する知的資産等を活用した商品化の企画やアイデアを有している本学の教員及び学生等を含むチーム。
２）商品開発を具体的に検討・実施できる者（連携企業等）を含むこと。（期間内に評価可能な商品試作を目指してください。）

４．申請方法

福島大学ブランド商品提案書（別紙様式）を地域未来デザインセンター長あてに提出してください。また、申請にあたっては、所属する部局の長に許可を得た上で申請ください。

なお、参考資料がある場合は併せて提出ください。

５．重複提案

類似のテーマで他の支援事業等に提案し、本プロジェクト及び他の事業の両方から採択された場合はいずれか一つを選択してください。

６．審査基準・選考

CFDC が設置する審査委員会において、**１次審査（書類審査）・２次審査（ヒアリング）にて採択可否を決定**します。２次審査（プレゼン）は対面形式で**２０２５年７月２日（水）に実施予定です（日程が変更の場合は、募集要項の変更によりお知らせいたします。）。**２次審査は応募教員だけでなく、共同で開発を実施する企業も対面または web 参加してください。日程は、１次審査終了後合格者に対してのみお知らせいたします。なお、同委員会は非公開で開催し、審査に関する問い合わせには応じられませんのであらかじめご了承ください。

７．提出する書類および申請書提出先

別紙申請書に必要事項を記載の上、**令和７年６月２０日（金）１２：００（期限厳守）**までに社会共創課（社会連携係）へメールにて提出してください。

【メールアドレス：chi-kikaku@adb.fukushima-u.ac.jp】

８．フォローアップ

採択された案件は、ヒアリングまたは書面による進捗確認やフォローアップを行う予定です。

９．商品化にあたって

連携企業は、以下のルールを守って開発した商品を販売するものとします。

１）本事業で開発した商品を販売する場合は、以下のいずれかの方法で福島大学のブランド商品であることを明示すること。

a.「福島大学商標取扱規程」、「福島大学学章及び公式マスコットキャラクターデザイン使用 に関する取扱い について」に基づき、所定の条件（申込、契約、使用料支払い）の下に福島大学のエンブレム等を使用する

b.「国立大学法人福島大学職務発明等規則」等の学内規則及び個別契約に基づき、所定の条件（契約、使用料支払い）の下に商標など福島大学が保有する知的財産を使用する

２）商品説明などの欄に「福島大学ブランド商品開発事業」で開発した商品であることを記載すること。 ※開発した商品名等の商標出願等については本学及び連携企業と協議の上決定します。

１０．問い合わせ先

福島大学社会共創課（社会連携係）阿部（晃）

電話：０２４－５０４－２８６５（内線：２６５９）

Email：chi-kikaku@adb.fukushima-u.ac.jp

１１．その他補足等

〇この事業における支援商品は、当該商品を販売するに当たり、一定の知的財産等に係るライセンス契約を行う予定ですが、**これまで（実施済み・実施中）の本学と企業との連携による商品開発の取り組みを妨げるものではありません**。

〇商品開発には、多くの時間を割くため今年度末までの試作品の開発が、困難である場合もあり得ます。この事業は、次年度も実施することを想定しておりますので、「次回申請を行いたい」、「事業に興味がある」等の質問も受け付けます。**本事業に興味関心のある方につきましても、「１０．問い合わせ先」へ連絡ください。**

〇商品開発企画の申請にあたっては、申請後に協力企業とのトラブルが生じないよう、申請者が責任を持って実施ください。